

2019年度 北海道ファミリーホーム研究大会プログラム

2019年7月13・14日
ヒルトンニセコビレッジ

1. 主催者挨拶 【 13:00～ 】

2. 講師・来賓紹介

厚生労働省 関東信越厚生局	健康福祉部長 長田 浩志 様
北海道 保健福祉部 子ども未来推進局	主査 吉本 考秀 様
一般社団法人 北海道里親会連合会	会長 太田 正一 様
札幌市里親会	会長 岩松 弘毅 様

3. 来賓代表挨拶 一般社団法人 北海道里親会連合会 会長 太田 正一 様

4. 研修大会 【 13:15～ 】

1) <<行政説明>>

「北海道社会的養育推進計画について」

北海道保健福祉部 子ども未来推進局 子ども子育て支援課 主査 吉本 考秀 様

2) <<講演>> 【 14:00～ 】

「子どもの権利擁護に関する取組の現状と展望について」

～家庭養育優先原則に基づく社会的養育の推進を中心に～

厚生労働省 関東信越厚生局 健康福祉部長(東京都養育里親)長田 浩志 様

講師プロフィール:

東京都養育里親。本年1月から2歳児を受託。

奥さんは乳児院勤務。子どもさんは小6の息子と小2の娘。

平成2年厚生省入省。平成12年から滋賀県児童家庭課長として児童虐待防止対策などに携わる。

平成15年に厚生労働省で児童福祉法改正などを担当。

平成24年から内閣府子ども子育て支援新制度担当参事官。平成29年から厚生労働省子ども家庭局総務課長

としてフォスタリング機関ガイドライン策定、児童福祉法改正などを担当

3) <<グループワーク>> 【 16:00～17:30 】

A) 高年齢児の養育について

・事例発表～ファミリーホーム フリフリ、ベーターホーム

B) 幼児、低学年の養育について

・事例発表～ファミリーホーム みんなのおうち、ファミリーホーム のあ

<<交流会>> 【 18:30～20:30 】

【14日(日)】

4) <<社会的養護で育った当事者座談会>> 【 9:00～10:30 】

～当事者からのメッセージ～

・進行役 (ガブリエルホーム 古家好恵)

・当事者Y(男性、20才)～16歳まで養護施設などで過ごし17歳でファミリーホームに入居。その後高校に進学し、今年卒業。現在は、自立に向けてグループホームで生活。

- ・当事者N(女性、20才)～17歳でファミリーホームに入居。現在、ファミリーホームに居住し、福祉人材養成奨学生として大学(3年)で勉学中。
- ・当事者S(男性、24才)～2歳から18歳まで児童養護施設で養育。就職し自立後、直に体調を壊し、縁があったファミリーホームの養育者の下で養生。回復後、養育補助者を務める。

5) ≪報告≫ 【 10:40～11:40 】

「アメリカの里親支援について」

社会福祉法人麦の子会

統括部長

古家 好恵

総合施設長 北川 聡子

6) ≪連絡事項≫ 【 11:40～11:50 】

5. 閉会挨拶 【 11:50 】